

## 第2節 地域と連携した環境教育・環境学習の取り組みについて

今日の環境問題を解決していくためには、身近な環境から地球環境まで幅広くとらえ、一人ひとりが共通の問題として認識・理解、行動することが大切であり、幼い頃からの意識付けが重要です。本市では、地域の特性を活かした環境教育や「八王子の環境」、「ごみ減量とリサイクル」などの出前講座を市民と協働で実施することで、八王子の豊かな自然を守る取り組みを推進しています。

### 1. 地域の人材を活用した環境教育

学校教育における環境教育をより一層推進するため、「学校教育における八王子市環境教育基本方針」を17年度に策定し、基本方針に基づき取り組んだ結果、現在では、牛乳パックを利用した紙すき、エコ料理、農業体験など約80校が独自に環境教育に取り組んでおり、地域ボランティアや環境診断士といった地域の方々が講師となり環境教育の支援も行っています。

以下では、環境診断士が環境教育支援を行った事例と児童の声を紹介します。



魚や虫がたくさんいました

#### (1) 由木東小学校における環境教育

身近な河川に親しむことにより、水環境を考え、関心を持ってもらうとともに、水の役割を学び、水・生命を守る心を養うことを目的として、4年生106名を対象に、由木東小学校南側を流れる大栗川を中心とした「水」プログラムを実施しました。

児童達は、身近な川にたくさんの生き物がいることや、川の違いや水のきれいさによって生き物が違うことに驚き、同行の保護者の方々も含め、楽しみながら川や水に関心を持ってもらうことができました。

#### <児童の声>

生き物を大切にして、魚や虫がたくさん住める環境にしたいと思います。

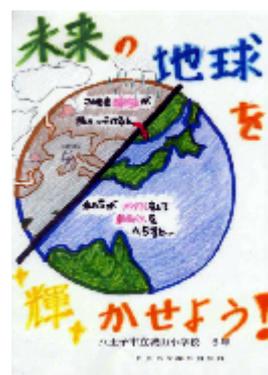
#### (2) 城山小学校における環境教育

身近にある大気を学習することにより、環境保全に興味を持ち、学習結果を地域へ発信するとともに、児童自身の「地球を大切に」、「自分たちにできること」に繋げることを目的に、6年生79名を対象に、「大気（酸性雨）」プログラムを実施しました。

「酸性雨とはなにか」を学び、自宅周辺の雨水を児童が自作した調査道具で採取し、地域の酸性雨のデータや酸性雨被害と思われる事例を新聞、ポスターにして地域へ発信することで、児童自身と地域の方々が「地球を大切に」、「自分たちにできること」という気持ちを育みました。

#### <児童の声>

地域の人たちが少しでも酸性雨を理解してくれて、対策について考えてくれればうれしいです。



児童が作成したポスター

### 2. 地域に根ざした体験活動を通じた環境学習

市内の中心を流れる「浅川」の水辺を活用し、子どもたちが自然と触れ合うことで、環境を大切に作る心、行動力を育成するため、地域の町会・自治会、環境活動団体や教育委員会・学校、

河川管理者等が連携した地域に根ざした活動団体として、「八王子浅川子どもの水辺協議会」を設立しました。

この協議会の設立記念イベントとして、俳優でもある中本賢氏主宰の多摩川クラブ、多摩さくら百年物語フォーラムの協力を得て、第十小学校を中心とした児童・保護者あわせて80名の参加による「八王子浅川ガサガサ探検隊」を実施し、親子で触れ合いながら、川遊びや魚捕りの体験活動をしました。カジカやギバチ、ホトケドジョウなど30種類、1,256匹もの魚などを捕獲・観察できたことに子ども達は驚き、親子で楽しみながら川に関心を持ってもらうことができました。



八王子浅川ガサガサ探検隊  
(浅川 鶴巻橋下にて)

### 3. 市民・事業者と協働で行う環境学習

#### (1) 市民による環境学習室の運営

市民・事業者が環境について関心を持つきっかけづくりと、環境保全活動団体などが、地域に根ざした活動を展開するための活動拠点として、17年1月に環境学習室「エコひろば」を開設し、「エコひろば」の運営方針について開設前より市と協働で検討を行ってきた市民団体である環境学習・リサイクル推進協議会に、18年4月から管理運営を委託しています。「エコひろば」では、「知っていますか、みなさんのまちの環境状況を」を合言葉に、市民が身近な環境について理解を深め、関心を持っていただくきっかけの場として、環境市民会議などによる環境保全活動の紹介を行うパネル展示や、環境保全活動団体の活動拠点として、各団体の会議や交流、学習の場となっています。



環境学習室の展示

また、市民が主体的に行う環境学習に対応するため、必要な物品の貸し出しを行い、市民がいつでもどこでも気軽に環境学習が行える環境を整えました。

#### (2) 市民・事業者による市民のための環境講座の開催

地域における環境学習やごみ減量・リサイクル啓発事業を推進し、地域に根ざした市民の自発的な環境保全活動を展開することを目的として、設立された環境学習・リサイクル推進協議会では、



冬鳥観察会(浅川にて)

「見て・聞いて・話してみよう」をコンセプトに、「エコひろば」はもとより、浅川や北野清掃工場などにおいて環境講座を33回実施し、503名もの市民が参加しました。その中でも、「夏休み親子環境教室」、「省エネルギー教室」などは、市民が講師で登壇し、市民が参加するという講座となっており、また、町会・自治会主催の環境学習会に市民を講師として派遣するなど、地域に根ざした活動を体現しています。その他、事業者が講師となり、市民向けに企業の環境への取り組みを紹介するとともに、家庭で

できる省エネルギー対策なども紹介しています。

19年度は、61講座を予定しており、一人でも多くの市民が、環境に関心を持つきっかけづくりとなるよう、更に活動を充実していく予定です。